

# 「私と部落問題」～第2回社会同和教育講座～



2月24日(日)天白第二集会所にて、公益社団法人三重県人権教育研究協会の御堂栄治さんをお招きし、本年度2回目の社会同和教育講座を開催しました。

自己紹介の後、御堂さんのこれまでの生い立ちや経験の中から思われたことや考えられたことを中心にお話が進められました。

簡単な絵を覚えて参加者がワークシートに再現する(絵を描く)という作業後に、みんなで絵を見せ合いました。するとさっき見たばかりの絵なのに参加者それぞれが異なる絵を描いていました。これは初めの絵をよく見たつもりでも自分の思い込みが入って絵に描いてしまっているということでした。このようなことは日常生活の中でもよくあることです。自分が知ったつもり、わかったつもりでもそこに思い込みが入り込んで、事実ではないことがあり、偏見につながっていることがあるということをもいつも頭の片隅に置いておくことが大切だと感じました。

また、「Tさんとの出会い」の話がありました。「差別される側にも問題がある」と発言し「その考え方はおかしい」と指摘されたTさん。そしてこのことがきっかけとなって部落差別について真剣に考え、学んでいくようになったTさん。そのTさんとの出会いや共に学ぶ中で「変わるべきは差別する側、社会の問題である」と一緒に考えることができたという御堂さん。これからも「学びたい」という人とともに、学び続けたいという意識を高くもって部落問題・部落差別について考えていきたいという言葉が印象に残りました。

